

令和7年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

う	ん	と	こ	し	よ
お	お	き	な	か	ぶ
ひ	き	ぬ	い	た	
小 一					

がくねん

なまえ

※つぎのむすび方でもよい。

「な」

第14回全国書写書道総合大会 主催 一般社団法人日本書字文化協会 共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構

課題解説

おおきなかぶ

かぶというのはだいこんのよう
に土つちの中なかでそだつやさい。おじい
さんがうえたかぶがものすごく大
きくなっています。おばあ
さんがおじいさんを後ろうしろから引ひつ
ぱり「うんとこしょ どっこい
しょ」。まごもくわわり「うんと
こしょ どっこいしょ」。まごに
つづいてイヌとネコが引っぱり、
さいごにネズミがネコを引っぱっ
てやっとぬけたとたん、みんな後
ろにひっくりかえってしまいました。
た。

「おおきな かぶ」はロシアの
民話みんわです。大地だいちと人ひとがとうじよう
するユーモラスあるお話はなしですね。

（課題文は「書文協ことば会議」選定・創作）